

外国にルーツのある生徒への支援

本校は外国にルーツのある生徒が多く在籍しています。現在1年生32人、2年生58人、3年生29人、合計119人です。(R8.5.1) その中には、日本語の語学力が十分でないために教科への取り組みが困難な生徒もいます。そこで、本校では日本語指導を中心に、外国にルーツのある生徒への支援体制の充実を図り、安心して学校生活を送ることができるよう努めています。



<日本語教室説明会>

(1) 日本語指導が必要な生徒に対して

- ・日本の生活習慣や文化を学び、日本の学校への適応を支援しています。
- ・日本語指導を取出し授業、教室内への入り込み指導等の形で行っています。
- ・生徒個々の実情にあわせた相談や個別指導を行っています。

(2) 支援体制と手だて

日本語担当教員9人と教科担当教員16人、日本語指導助手1人、計26名で支援をしています。

<学習支援等の仕方>

日本語の語学力を中心に個々のステップに応じてグループ分けをします。

●初期指導（取出し授業5～7時間）

来日してからの日が浅い生徒、日本語での日常会話が難しい生徒。

●中期指導（取出し授業3時間程度）

小学校で習う漢字の習得が確かでない。漢字の読み書きはできるが授業についていくのが困難な生徒

特に外国にルーツのある生徒には難しい「日本の歴史・地理・

公民」の内容を理解したり、「漢字の読み書き」「文章の読解」の力

を高めるたりするために「国語科」「社会科」の時間を中心に日本語教室で個別に支援をしています。教科書の読み、要点の説明、漢字、語句などの基礎的内容の反復学習と問題練習が中心です。

「読む」「書く」「聞く」「話す」の4つの視点を意識して支援を行っています。

●後期指導（入り込み指導、グループ指導、教育相談等）

日本での生活が長く、日本語での会話に問題がなく学年の学習を理解することができる生徒。

<段階別生徒数>

	初期	中期	後期	計
1年	2人	15人	11人	28人
2年	0人	19人	34人	53人
3年	4人	6人	16人	26人
特別支援	0人	4人	8人	12人
計	6人	44人	69人	119人



<取出し指導>

(3) 地域・大学との連携

地域や愛知教育大学との連携も行っています。昭和地区で行われている日本語支援教室「みらい」には本校の生徒が参加しています。

(4) 進路への取り組み

保護者や生徒自身の考えをよく聞き、相談しながら進めています。懇談会には通訳として指導助手や語学相談員が同席して意思疎通を図ります。進学希望の生徒は十分な学力をつける必要があります。努力が必要です。生徒が未来を切り拓いていけるよう、可能な限りの支援をしていきます。